

業務の情報共有に おける改善案

D班-1
ミルキーウェイ

関西大学	松村久基
熊本学園大学	内田雄毅
工学院大学	山口要二
高千穂大学	田中晴夫
中京大学	中村真也
東海大学	遠藤ゆかり
東北学院大学	原田美由紀

目次

1. 問題点の洗い出し(現状把握)
2. 業務の情報共有の課題
 - 2-1. 部署内の業務の情報共有の課題
 - 2-2. 部署間の業務の情報共有の課題
3. 課題を解決するための仕組み
4. 解決策
 - 4-1. グループウェア導入における考慮点
5. まとめ

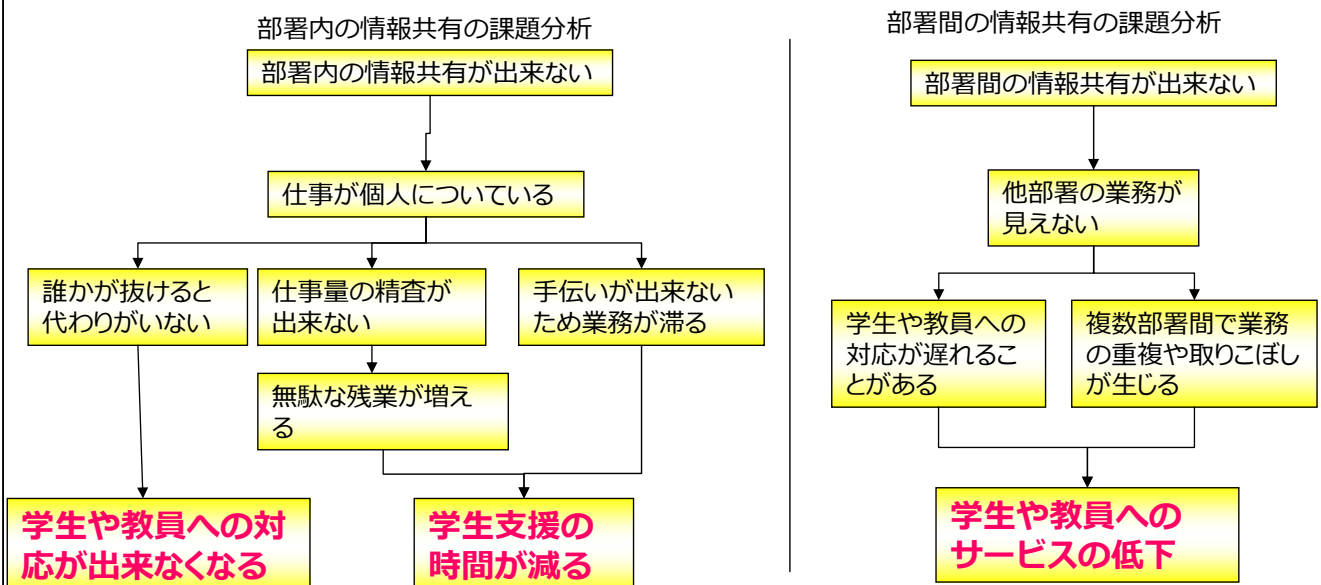
1. 問題点の洗い出し(現状把握)

ミルキーウェイでは職場が抱える問題点について意見を出し、情報共有に関する問題点について議論した。

- 業務の情報共有の問題
 - 他部署との交流がない
 - 部署間の協力がなく、業務依頼書などの申請プロセスが必要
 - 各部署からの連絡事項の伝達方法が統一されていない
 - 部署間の仕事の線引きがあいまい
 - 他部署がしている仕事が見えにくい
 - 上層部の考えが末端の職員に浸透していない
 - 仕事が個人についている

2. 業務の情報共有の課題

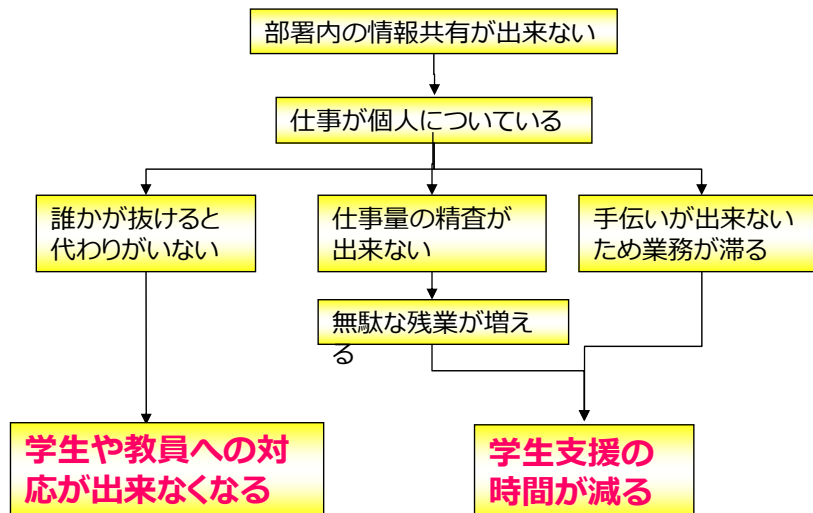
- 洗い出した問題点から業務の情報共有の課題を分析すると下図のようになった



2-1. 部署内の業務の情報共有の課題

- 部署内の情報共有ができていない事により下記のような問題が起こっている

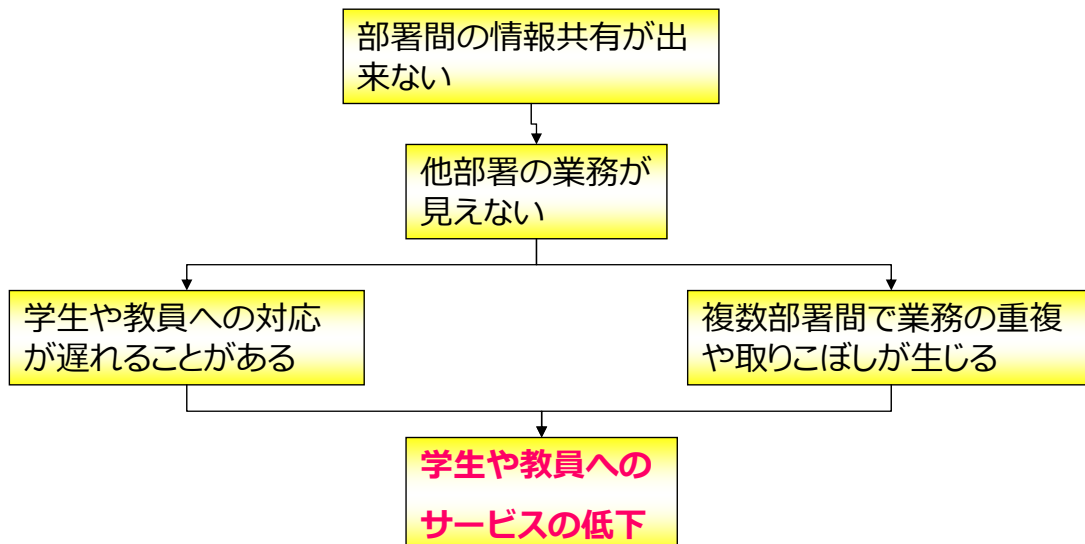
部署内の情報共有の課題分析



2-2. 部署間の業務の情報共有の課題

- 部署間の情報共有ができない事により下記のような問題が起こっている

部署間の情報共有の課題分析



3.課題を解決するための仕組み

情報共有に関する課題解決するための仕組みを考えた

- 部署内の情報共有の課題を解決する仕組み
 - 日常業務の引継ぎをできる仕組み
 - 引継ぎ内容を部署内で共有できる仕組み
 - 業務内容を複数人でカバーしあう仕組み

- 部署間の情報共有の課題を解決する仕組み
 - 実務担当者レベルでも他部署の情報を共有できる仕組み
 - 各部署が持つ新鮮な情報を即時共有する仕組み
 - 共有すべきデータが更新されたことを知らせる仕組み

4.解決策

- 部署内の情報共有の課題に対する解決策
 - 日常業務の日報作成により、引継ぎをする
 - 業務内容のマニュアルを作成する
 - 同一業務を複数の人員でカバーする
 - 自部署でOJTを実施し、部内の複数人が業務を共有する
 - 定期的に担当業務をシフトしていく

 - 部署間の情報共有の課題に対する解決策
 - 実務担当者レベルで関係する複数部署の連絡会を開催し、意見交換を行い、各部署内で展開する
 - グループウェアの導入などで組織内での情報共有を行う
(新着記事お知らせ機能、掲示板機能、データ共有・検索機能、メール機能)
 - 他部署でOJTを行い、その部署の業務を学ぶ
- その他にも
- 懇親会など、コミュニケーションの場を設け職員の交友を深める

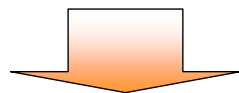
4-1.グループウェア導入における考慮点

- 導入後に考えられる問題点と運用上の解決策を考えてみた
(例)
 - 機能があっても利用しないユーザがいる
 - ①使い方がわからない
→利用方法をマニュアル整備や講習会を実施し、部署内の展開で利用方法を覚えてもらう
 - ②使い方はわかるが、使うのが面倒である
→利用しなければ業務が回らないようにし、必要不可欠なツールとする
 - データの保存場所がわからないことがある
→保存先を部署ごとにするなど、ルール(ファイル名のルール作りなど)を策定する

5.まとめ

- 部署内または部署間で情報共有に関する課題や解決策を考えた

組織内の情報共有の課題を解決するためには



自分の所属部署にとらわれず、
広い視点で業務の全体像を捉え、
システム導入や仕組みづくりを行っていく必要がある